

○月曜日5時限（17:00～18:30） ○教室 B210

回	日程	授業	内容	担当	備考
第1回	4月13日	全体ガイダンス	ガイダンスと問題設定、フィールドワークの技法	末本・稲場	
第2回	4月20日	講義「里山管理と生物多様性保全」	近年、里山が利用されなくなったために遷移が進行し、生物多様性が低下してきている。里山管理の必要性和生物多様性の保全の意義について論ずる。●フィールドのガイダンス	武田	
第3回	4月27日	講義「障害共生の観点・e for all」	障害の問題がどのようにESDと関わるのかということを示し、実践的な研究の活動から得られる経験や知見について紹介するとともに、今後必要性が増してくると考えられる実践のあり方を考える。●ツールド・ESDガイダンス	津田	B210
第4回	5月11日	講義「次世代育成と子育て支援」	サテライト施設「あーち」での子育て支援実践を紹介し、セルフ、ピア、コミュニティ・エンパワメントへのプロセスと次世代育成の必要性を検討する。●フィールドのガイダンス	伊藤(篤)	B201
第5回	5月18日	講義「専門家と非専門家の対話と協働」	サイエンスカフェ神戸、神戸大学サイエンスショップと、兵庫-神戸地域へのESD地域拠点の形成について紹介し、専門家と非専門家の対話、連携協働を通じた持続可能な社会づくりについて論じる。 ●フィールドのガイダンス、ツール・ド・ESDの日程調整	伊藤(真)	B210
第6～9回		ツールド・ESD	実際のツールド・ESDは各フィールド担当者の提示日程による		
第10回	6月8日	講義「生命の尊厳からとらえるESD」	幅広い領域と観点を含みこんだESDの根底にあるものを考える。	稲場	B201
第11回	6月15日	講義「ESDと学校教育・市民性（シティズンシップ）教育」	持続可能な開発・持続可能な社会づくりのための教育を、学校教育の中でまた市民性（シティズンシップ）教育と関連付けてどのように実施していけばよいかについて、理論レベルと実践レベルの両方の面から考察する。	今谷	B210
第12回	6月22日	講義「ESDの教育論」	学問のパラダイム転換を教育学の観点から論じる。「学ぶ」ということの意味の問い直しからESDの教育論的な課題を明らかにすることにより、学外の各フィールドの活動に学習支援者として関わる視点を獲得する。	末本	B210
第13回	6月29日	講義「持続可能な開発からESDへ」	持続可能な開発SDを巡り様々な議論がされてきましたが、そこから実践的な成果が生まれてきたとはいえません。それを乗り越えるためにESDが提唱されています。その実態と可能性について検討します。	太田	B210
第14回	7月6日	振り返り	グループディスカッションなどにより、ツールド・ESDの振り返りを行う。	高尾	B210
第15回	7月13日	総括	ESD論担当教員によるディスカッション		B210

- NPO法人自立生活サポートセンターもやい事務局長湯浅誠さんの特別講演、7月5日（日）午後。
- コウノトリプロジェクト（末本）、あいな里山（武田・松岡）、サイエンスショップ／カフェ（伊藤真）  
あーち子育て支援（伊藤篤）、あーち障害共生（津田）  
ゴミ・ジャパン（石川＝経済学部）、倫理創成研究プロジェクト（松田＝文学部）
- 連絡先 A棟1階ヒューマン・コミュニティ創成研究センター&ABEE  
esdkobe@koala.kobe-u.ac.jp hp <http://gpsed.h.kobe-u.ac.jp>